

平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況(連結)

平成 15 年 8 月 22 日

上場会社名 玉井商船株式会社

(コード番号: 9127 大証第2部)

(URL <http://www.tamaiship.co.jp>)

代表者 役職・氏名 取締役社長 本馬 修

問合せ先責任者 役職・氏名 取締役経理部長 平田 博司

(TEL(03)5472-7031)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高(又はこれに相当する事項)の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期業績の概況(平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日)

(1) 売上高(又はこれに相当する事項) (百万円未満を切り捨て)

	百万円	%
16 年 3 月期第 1 四半期	932	
15 年 3 月期第 1 四半期		
(参考)15 年 3 月期	4,154	

(注) 売上高(又はこれに相当する事項)は、当該四半期までの累計値である。

パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示す。

四半期業績の開示初年度のため、前年同四半期の数値及び前年同四半期比増減率は記載していない。

[売上高(又はこれに相当する事項)に関する補足説明]

当初の中間期業績予想の売上高(営業収益)1,860百万円に対する達成率は、50.1%であり、おおむね予想どおり。事業の種類別セグメント毎の売上高(営業収益)及び同達成率は、外航海運業 564 百万円、49.9%、内航海運業 327 百万円、50.7%、その他 40 百万円、49.8%である。

外航海運業に関しては、不定期船市況が高水準のまま推移しており、このため短期用船船舶を用船して、引き受け貨物を輸送する航海において一部逆鞘配船となったものがあり、営業損益を悪化させたが、おおむね予想の範囲。内航海運業では、内航タンカー部門において、石油火力発電所向けなどの重油輸送が比較的好調で、予想より増収増益。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

[概要]

特になし。

当該四半期末における投資有価証券の含み益は、123 百万円(前期末比 106 百万円増)であり、その他有価証券評価差額金は 73 百万円(前期末比 63 百万円増)となっている。

3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想(平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)

変更なし。

以上